

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

公園自然課（内線：7199）

9目 狩猟費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (雑入)	一般財源	
ツキノワグマ対策事業	9,192	8,936	256			12	9,180	
トータルコスト	21,620千円（前年度 20,050千円）							
従事する職員数	正職員：1,46人、非常勤職員：1,00人							
主な業務内容	業務委託、各種情報収集・整理、計画推進体制整備、関係機関等との調整							
事業内容の説明								
<p>1 事業概要</p> <p>平成19年度に策定した「ツキノワグマ保護管理計画」に基づき、遭遇回避対策等の被害防止対策を講じるとともに、学習放獣等の保護管理対策を実施する。</p> <p>2 事業内容及び事業費</p> <p>(1) ツキノワグマ保護管理計画の推進体制整備（非常勤職員の配置） 2,418千円</p> <p>学習放獣を行ったツキノワグマの監視のため、ツキノワグマ追跡調査員（非常勤職員）による以下の業務を行う。</p> <p>ア 学習放獣個体の追跡・監視（位置情報の把握、市町村への情報提供）</p> <p>イ 追跡調査データの整理（個体群の行動分析に活用）</p> <p>(2) 遭遇回避対策 2,419千円</p> <p>① 遭遇回避総合対策事業補助金（2,000千円）</p> <p>ア 事業主体：市町村、地元自治会（補助金交付先：市町村）</p> <p>イ 補助率：1/2（間接補助の場合：1/3）</p> <p>ウ 主な補助対象事業：クマ除け鈴の配布、侵入防止柵・緩衝帯の設置、誘因物の除去（拡充）</p> <p>②（新）ツキノワグマ追い払い犬実証事業（419千円）</p> <p>効果的な追い払い方法の確立のため、人家近くに出没するクマに対し犬を用いた追い払いを行い、その有効性を実証するとともに、市町村への普及を図る。</p> <p>ア 事業内容：現地における犬の訓練、追い払いの実施（いずれも、訓練士に委託）</p> <p>イ 実施期間：平成21～23年度（3年間のモデル事業）</p> <p>(3) 保護管理計画の推進 4,355千円</p> <p>ア 保護管理検討会の開催</p> <p>イ 学習放獣の実施（放獣予定：10頭）</p> <p>ウ 生息実態調査の実施</p>								